



ラグビーワールドカップ 今秋開幕！

野球のワールドカップ(WBC)は日本の劇的な優勝で幕を閉じましたが、この秋にはラグビーワールドカップがフランスで開催されます。

日本の世界ランキングは10位。すでに予選リーグの日程は決まっております。

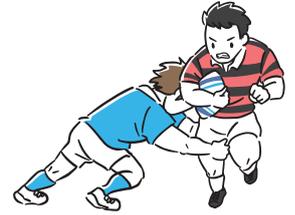
9月10日(日) 20:00(日本時間) VS チリ(22位)

9月18日(月) 4:00(日本時間) VS イングランド(6位)

9月29日(金) 4:00(日本時間) VS サモア(12位)

10月 8日(日) 20:00(日本時間) VS アルゼンチン(8位) となっています。

強豪のイングランド・アルゼンチンと同組ですが、なんとか2位までに入って、ベスト8に進んでもらいたいですね。早朝の試合もありますが、今から楽しみです！



「Eco列車でいこう！」～第162回～ 道東へ！(前)

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行や、心が豊かになるような旅行を照会するコーナーです！)



2月に誕生日を迎え、50歳になった。特別な感慨はないけれど、人生の節目なので、一人旅に出ることにした。行き先は「道東」に決めた。流水と極寒体験、ゲストハウスでの宿主との交流が楽しみだ。

2月22日。仕事を早めに切り上げて、新潟空港から新千歳空港へ。南千歳駅から特急に乗る。「サーモンとカニの寿司」で北海道を味わう。「釧路」に着いた時には日付が変わっていた。

翌朝、始発電車で「塘路(とうろ)」駅までやってきた。氷点下15℃だが、風がないのでそれほど寒さを感じない。ただ、まつ毛が凍っている。誰もいない塘路の集落から国道に出る。歩道が整備されているし、ザクザク雪だから歩きやすい。クルマは猛スピードでビュンビュン飛ばして行く。

「ザルボ展望台」下の駐車場に到着して、靴にスノーシュー(かんじき)を装着する。急な坂を登り、カモシカの親子と遭遇。アップダウンを繰り返すと展望台に到着だ。

眼下に白い世界が広がる。塘路湖は氷結し、ワカサギ釣りのテントが点在している。

駅まで戻り、釧網本線「網走」行きに乗車。オホーツク海にほど近い「小清水」駅で途中下車。隣接の食堂で、ゴロツとじゃがいもが入ったカレーを食す。

臨時列車「流水物語号」の車窓から、流水を眺め、網走に到着。特急に乗り換え、石北本線の「遠軽(えんがる)」駅でレンタカーを借りる。氷点下の運転には少々不安があったが、路面が乾いており、スリッパの心配はない。快適なドライブとなった。

限界集落にある小さなゲストハウスに泊まる。宿泊客は自分一人だけだった。関西から入植してきた若い夫婦の話を聞き、じゃがいもの団子鍋をつついた。



釧路湿原の展望台から塘路湖を臨む



福神漬けの場所が小清水町



オホーツク海と流水